

次期田原市総合計画 策定に向けた
まちづくり市民会議【第4回】

目次

| | |
|-------------------------------------|---|
| 1 第3回市民会議の振り返り | 1 |
| (1)第3回まちづくり市民会議の意見まとめ | 1 |
| (2)第3回まちづくり市民会議のアンケート結果【参考資料】 | 2 |
| 2 本日の流れとタイムスケジュール | 4 |

令和5年4月26日

田原市 企画課
業務委託：(株)ジャパンインターナショナル総合研究所

1 第3回市民会議の振り返り

(1)第3回まちづくり市民会議の意見まとめ

3月29日に開催した第3回のまちづくり市民会議へのご参加ありがとうございました。第3回では、「田原市の宝」を残すことに関する不安と期待を踏まえ、「今」何に取り組んでいくべきなのか、今後10年間の総合計画を見据えてアイデアを出していただきました。グループワークで出された意見を取りまとめた結果は次のとおりです。

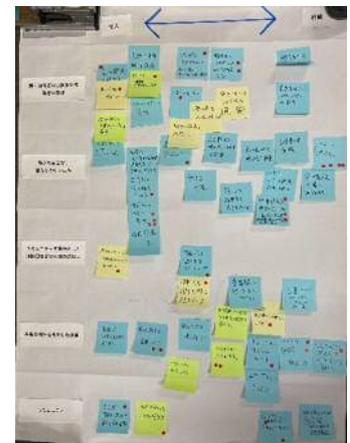
健康福祉・教育文化

健康福祉・教育文化部会では、最もたくさんの意見を出していただきました。6つのテーマに対し、75の意見が出されています。特に「子どもたちが心身ともに健やかに育まれる環境」に関する意見が多くあげられています。



都市整備・消防防災

都市整備・消防防災部会では、5つのテーマで50の意見が出されています。特に「静かで安全な暮らしやすいまち」や「半島の特性を生かした交通」において多く意見が出されており、人口誘導施策や具体的なバス・鉄道等の利用に関するアイデアがみられています。



市民環境・産業経済

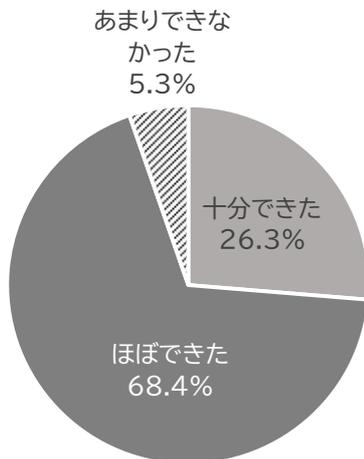
市民環境・産業経済部会は、5つのテーマで43の意見が出されています。「おいしく、新鮮な農産物・海産物、稼げる農業・漁業」で最も多くの意見が出され、農業・漁業の担い手づくり等に関する意見・アイデアがみられました。



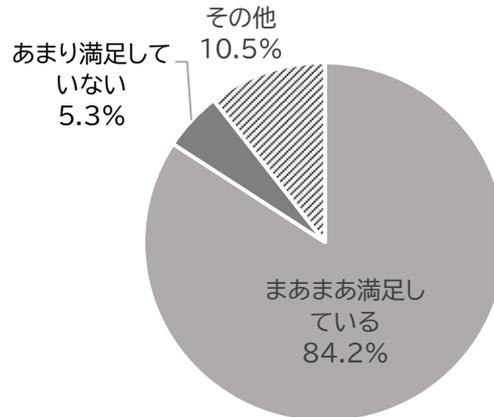
(2)第3回まちづくり市民会議のアンケート結果【参考資料】

会議終了後のアンケート：回収数 19（参加者 23 人に対し、回収率 82.6%）

第3回市民会議で十分に発言できたか
回答数:19人



第3回市民会議の討議結果はどうか
回答数:19人



■本日の検討テーマで出されたアイデアのうち自分で取り組んでみたいと思ったもの

| 区分 | 意見内容 |
|--------|---|
| 情報発信 | <ul style="list-style-type: none"> ・情報発信は全てにおいて重要かと思う。 ・SNS の活用。 ・SNS などでの外への発信。学校での文化の紹介。 ・農業関係の仕事をしていることもあって、向こう 5年、10 年と持続可能な農業にしていきたいために生産者に対して必要な情報発信をしていきたい。また、一個人として「田原市の魅力」について再確認していきたいと思った。 |
| 市の名前 | <ul style="list-style-type: none"> ・活性化のためには田原市という名称をあらためて、考え直しても良いのではと皆さんと議論して思いました。 ・市の認知度をアピールしても、インパクトが弱い。市の名前を変えたらどうか。シルバータウン。 ・市名の住民投票。 |
| 環境 | <ul style="list-style-type: none"> ・樹木を増やす。 ・花の樹木を植える。 |
| 防災 | <ul style="list-style-type: none"> ・女性防災リーダー等参加しよう。 |
| コミュニティ | <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者による多彩な行事への参加 |
| その他 | <ul style="list-style-type: none"> ・DX 等デジタル化 ・渥波サーフスタジアムおもしろい |

■「10年後の田原市」に最も期待する姿・イメージ

| 区分 | 意見内容 |
|----|--|
| 人口 | <ul style="list-style-type: none"> ・人口増施策 ・渥美市。人口の少ないコミュニティに人口を増やす。 |
| 全体 | <ul style="list-style-type: none"> ・誰もが不安を感じない生活ができるまち ・静かで平和なまち ・高齢者や子供達の暮らしやすいまち、全国から田原市に住みたいと言ってもらえるまち ・みんなが幸せに暮らすまち ・市民が自信をもって笑顔で暮らしている |

| 区分 | 意見内容 |
|--------|---|
| 子ども・若者 | <ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児の増加、地域地元根差した学校の確立 ・子どもたち（市民）が健やかに、心豊かに過ごせるまち ・子どもたちが安心して住むことができる田原市だと思いたい ・若者が活躍できるまち ・地域的にハンディがあるので教育に力を入れていくのが良いと思う ・子育てにやさしいまち、田原市という名称は弱い！という意見が多く出た |
| 具体的内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・華山先生シリーズの売り出し ・県庁まで1時間で行きたい ・市→あつみ市「渥海市？渥美市？渥波市？」 |

2 本日の流れとタイムスケジュール

今回のまちづくり市民会議においては、前半でこれまでの計3回の検討結果を取りまとめたものを事務局で作成した「提言書(案)」に対し、会議形式で、全員で確認しながら検討していきます。完成した「提言書」は、庁内の検討組織へあげていきます。

また、後半では、皆さんが考える10年後の理想の田原市の姿・イメージについて具体的に絵や文章で提案を行っていただきます。これらのイラスト・文章等のイメージを活かし、総合計画の中で「田原市の未来シナリオ」としてイラスト化したものを掲載する予定です。

話し合うテーマ

① みんなの意見で提言書を完成させよう

② 10年後の理想の姿・イメージを具体化しよう

今回のグループワークの成果イメージ

- 各部会の「提言書」が完成する。
- 市民の皆さんが考える将来イメージが具体化される。

■本日の流れ

| 区分 | | 内容 | |
|----------------|----------|-----|--|
| ワークショップ(80分程度) | 「提言書」の確認 | 5分 | 【グループワーク:アイスブレイク】 グループごとに役割決め(書記、最後の発表者) ※提言書の修正を行っていく人を1人決めてください。 |
| | | 5分 | 【グループワーク:提言書の内容の確認】 事前送付している「提言書(案)」の内容について、簡単な振り返りを行います。 |
| | | 40分 | 【グループワーク】 部会ごとに、読み合わせを行うなどして、提言書(案)に書いてある内容を確認していきます。 内容に追加、訂正があれば、直接赤ペンで用紙に記入してください。特に、趣旨が間違っていないか、言い忘れたことはないか、発言した意見が漏れていないか、などについて確認ください。 |
| | 将来イメージ提案 | 15分 | 【個人ワーク】 あなたが考える「田原市の理想の姿・イメージ」を、配布するシートにご記入ください。文章でも、イラストでも構いません。 |
| | | 15分 | 【グループワーク】 出されたイメージを、カテゴリで分類しながらゆるやかに整理してください。 |

| | | |
|------------------|-----|---|
| 共有・発表(各グループ5分程度) | 15分 | 【グループごとの発表】 グループごとに整理した「田原市の理想の姿・イメージ」について発表していただきます。 |
| 写真撮影 | 10分 | 各部会の「提言書」に、皆さんの集合写真を掲載するため、順番に撮影を行います。 他の皆さんは、「アンケート」を記入し、提出してお帰りください。 |

テーマ①「みんなの意見で提言書を完成させよう」の進め方



4 「田原市の宝」を未来に伝えるために、今、取り組むべきこと

健康福祉・教育文化部会では、前ページであげたような不安と期待を踏まえ、「今」何に取り組んでいくべきなのか、今後10年間の総合計画を見据えた取組のアイデアを次のように提案します。
特に実施すべきだと考える事項は★マークのものであり、優先的に取り組むことが期待されます。

田原市の宝① 助け合える地域のつながり・あたたかい人間関係

市民の取組案

- 地域に対してみんなで関心を持ち、声をかけあう。地域活動に参加し、一人ひとりがマナー、ルールを守るように心がける。
- 地域住民が中心となった“お助け隊”を結成し、活動する。

協働による取組案（市民と行政の協力）

- SNS等を使って、地域のつながりの大切さ、コミュニティの重要性について伝える。
- ★ **市民館などを活用し、子どもや高齢者、障がい者等、誰もが一緒に集まることのできる場所をつくる。**
- 若い世代・現役世代の住民がコミュニティ協議会・自治会、お祭り、公園の除草等、地域活動に参加しやすくなる工夫（負担の軽減、やりがいの創出、活動の見直し等）を行い、アピールする。

行政の取組案

- ボランティア活動をポイント制にするなどして、地域活動に取り組むことで景品がもらえるなどの特典をつくる。
- ★ **地域活動におけるデジタル環境の整備を支援し、デジタルツールを活用しやすくする。**
- 隣の地域との共同作業など、広域的なコミュニティ活動を展開しやすくする。

田原市の宝② ライフステージに応じた保健・医療・福祉の支援体制

市民の取組案

- 高齢期に入る前から運動習慣や食生活の改善等に取り組む。健康増進の意識を高める。
- 地域で高齢者の活躍できる場所をつくり、子どもと交流する。
- ★ **壮年期から高齢期まで参加できるグラウンドゴルフやゲートボール、各種の教室を実施し、楽しんで健康づくり・体力づくりに取り組む。**
- 医療・福祉サービスの利用に対する意識を改める。

協働による取組案（市民と行政の協力）

- 田原市医師会から、医療関係者に対して田原市の環境、物価等の良さをアピールすることで、田原市内における開業を促す。
- 気軽に利用できる運動の場、機会を設ける。

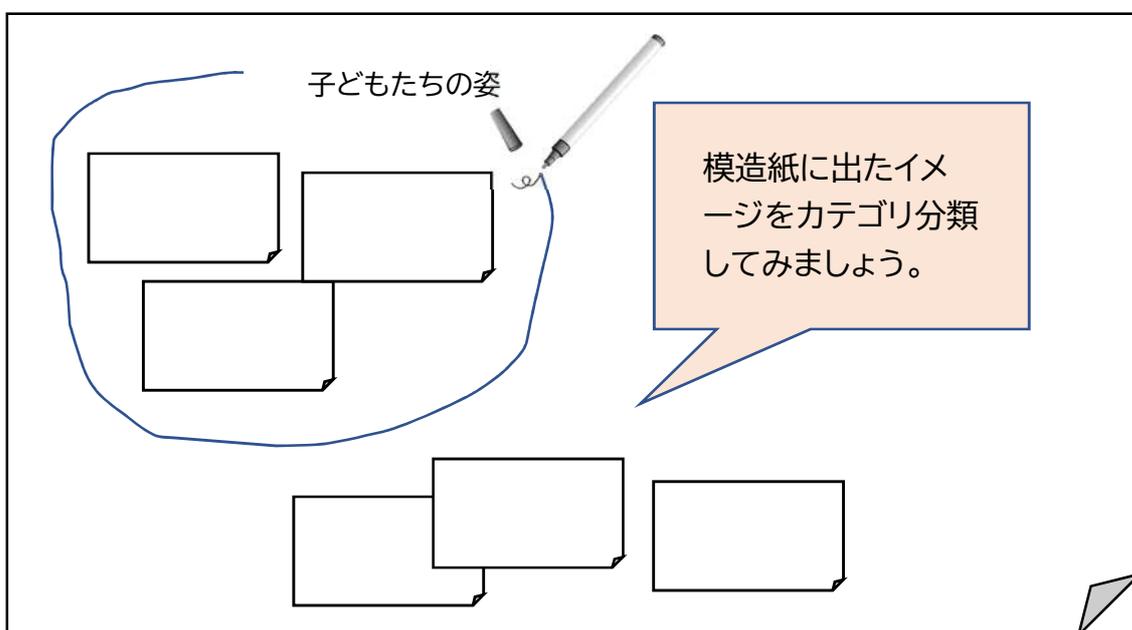
各テーブルに拡大コピーした「提言書(案)」を配置します。

作成した「提言書(案)」について、趣旨が違っている、追加したい事項がある、などがあれば、直接マジック(赤色)で訂正してください。

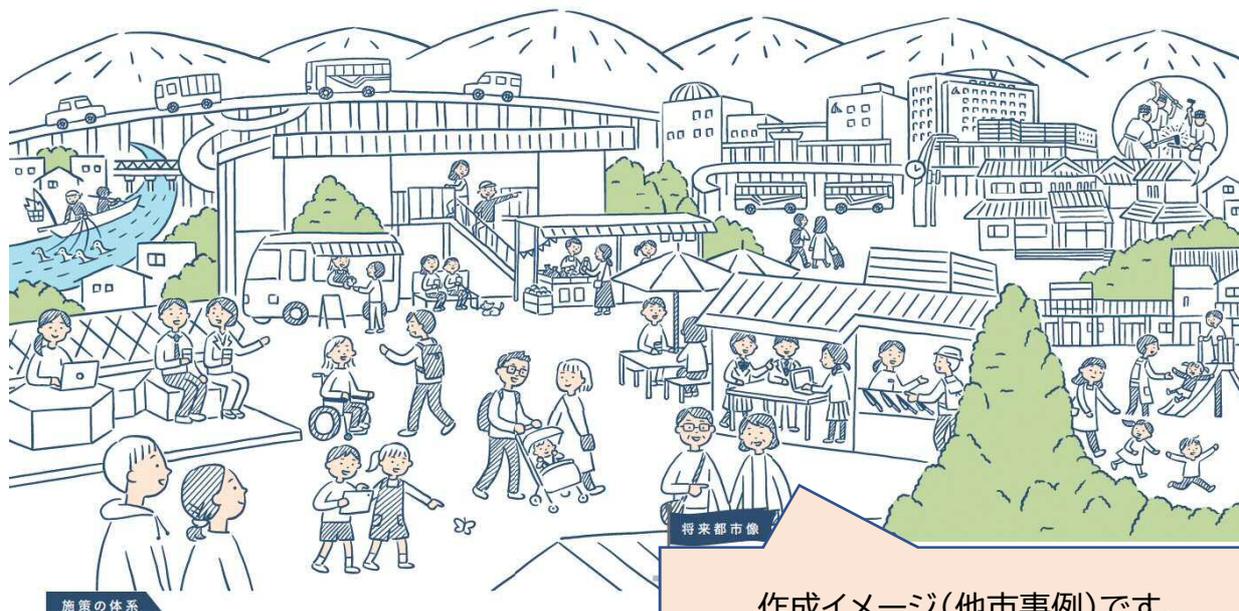
テーマ②10年後の理想の姿・イメージを具体化しよう



あなたが考える「田原市の理想の姿・イメージ」を、言葉(文章)でもイラストでもいいのでシートに記入してください。



模造紙に出たイメージをカテゴリ分類してみましょう。



作成イメージ(他市事例)です。

施策の体系